

4 数学

科目名	数学A	単位数	2 単位	学年	第 1 学年	科 コース	総合ビジネス科 総合生活科
使用教科書	実教出版「高校数学A」(新訂版)			副教材		数学Aサブノート	

学習の到達目標

順列と組合せ、確率、整数の性質または図形の性質について理解し、基礎的な知識を身に付けさせ、問題を表現・処理する技能を習熟させ、知識や技能を用いて事象を数学的に考察し処理する能力を育てる。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通部分と和集合を、ベン図を用いて理解できるようにする。 ・ 和集合や補集合などの要素の個数を求められるようにする。 ・ 和の法則と積の法則について、理解できるようにする。 ・ 順列の意味を理解し順列の数を求めることができるようにする。 ・ 重複順列や円順列の意味を理解し、具体的な例で数を求めることができるようにする。 ・ 組合せの意味を理解し、組合せの数を求めることができるようにする。
	5	2 節 確率	
	6		
	7		
二 学 期	9	2 章 整数の性質 1 節 整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独立な試行の意味を理解し、その確率が求められるようにする。 ・ 反復試行の意味を理解し、その確率が求められるようにする。 ・ 条件付き確率の意味を理解しその確率が求められるようにする。 ・ 倍数と約数について理解し倍数と約数を求められるようにする。 ・ 素数および素因数分解について理解する。 ・ 最小公倍数と最大公約数を求められるようにする。 ・ いろいろな事象を最小公倍数や最大公約数を利用して考えられる。 ・ 2進法と10進法の仕組みについて、それぞれ理解ができる。 ・ 有限小数と循環小数について理解することができる。
	10	3 節 整数の性質の活用	
	11		
	12		
三 学 期	1	3 章 図形の性質 2 節 三角形の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図形の定義と性質を、三角形の合同や相似を使って論理的に考える。 ・ 中点連結定理が成り立つことを理解し、問題が解けるようにする。 ・ 重心・外心・内心と外接円、内接円との関係を理解する。 ・ 円に内接する四角形の定理と内接する条件を理解する。 ・ 直角三角形の内接円の半径を求めることができる。 ・ 方べきの定理が成り立つことを理解する。 ・ 2つの円の位置関係を理解する。
	2	3 節 円の性質	
	3		

学習評価

1. 定期試験での成績に、課題の提出状況を平常点として加え、総合的に判断する。